

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2 年 4 月 13 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ひらじまけんこうふくしいんかい
平島健康福祉委員会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ○ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	平島・元気で輝き事業
事業実施区域 (小学校区)	平島小学校区
① 事業 実施 内容	～高齢者が心身共に元気で社会参加をし活躍することができること、併せて平島地域で支え合う仕組みづくりを構築することができることを目指して～ ① ちょっとした生活上の困りごとを解決するため、生活支援サービスの提供 ② 歩いて行ける所に寄り合うことで元気になれる井戸端カフェの開催 ③ 週に1度は心身の機能を維持向上させるために体操ができる場を開催 ④ 医療や福祉、健康について楽しく学びながら健康寿命を延ばすため研修会の企画実施 ⑤ 地域についてのイベントや社会資源を幅広く知ってもらうためのHKFニュースの発行 ⑥ 高齢者の課題について話し合う場“小地域ケア会議”の運営

② 解決を目指した課題	・「生活支援サービス」「井戸端カフェ」「HKF研修会」の認知度向上と浸透 ・「HKFニュース」の内容の充実 ・地域で共に支え合う仕組みづくりの醸成 ・近隣学区との情報共有と連携活動へのつながりの強化 ・新企画「ふれあいサタデー・元気で輝き体操」及び「三世代交流ふれあいサタデー」へのチャレンジ
③ 目的・目標の達成状況	・「生活支援サービス」「井戸端カフェ」「HKF研修会」の認知度向上と浸透・・・「生活支援サービス」については昨年に比べ若干件数が減少したが、リピーターからの要請もしっかりあったので今後も継続して続けて行く。「井戸端カフェ」は2か所で開催しているが、体操を始めた関係で1か所の開催場所を変更せざるを得なかったが結果的に利用者数増につながり良い傾向にある。「HKF研修会」は計4回開催、うち1回は南古都町内会へ出前講座を実施。1回は「三世代交流ふれあいサタデー」との合同開催で実施。全般的に参加者数は増加傾向にあるが今後もプログラム内容には工夫を凝らしながら継続実施の方向である。 ・「HKFニュース」の内容の充実・・・今年度は3回の発行。掲載内容に変化を付けてはいるものの全世帯に配布しているがどれだけの住民に目を通していただいているかは定かではない。掲載記事についての問い合わせや「ニュースを見たから来たよ」とイベント参加者の声を聞くことでほっとしている。 ・地域で共に支え合う仕組みづくりの醸成・・・大きなテーマだが地域でのボランティア活動の一つ一つの積み重ねがなによりも大切と考えている。特に今年度は中学生を含む子供たちや忙しい若いお父さんお母さん方へ向けて少しずつだがアクションを開始し、その反応もあったので今後への期待も膨らんでいる。 ・近隣学区との情報共有と連携活動へのつながりの強化・・・主に上道公民館で開催。上道中学校区内の交流では少しずつそのネットワークが広がりつつあるように感じている。来年度は更に隣接の瀬戸中学校区へも新企画のイベントを通して連携を働きかけ、模索していきたいと考えている。 ・新企画「ふれあいサタデー・元気で輝き体操」及び「三世代交流ふれあいサタデー」へのチャレンジ・・・「ふれあいサタデー・元気で輝き体操」は毎週土曜日10:00～11:00、コミュニティハウスで計45回開催、参加者累計数660名。「三世代交流ふれあいサタデー」はコロナ感染予防のため1回のみで開催となったが参加者数120名（子供：60名、若いお父さんお母さん：30名、高齢者：30名）と盛会で参加者の評価も高かったので次回開催に向け自信を高めることができた。

④企画等の工夫と情報公開	＜企画の工夫＞ ① 新企画「ふれあいサタデー・元気で輝き体操」及び「三世代交流ふれあいサタデー」へのチャレンジによる狙い。 ・以前より“井戸端カフェ”や“HKF研修会”において参加者から「歩いて行ける所で体操がしたい」とか「子供たちとふれあう集いを開催して欲しい」という声が挙がっていたこと。また、若い方たちへの新しい切り口でアプローチをすることで地域での支え合いの雰囲気づくりの醸成ができる可能性を期待している。チャレンジの結果、参加人数や出席者の反応もしっかりあり、成果はあったと確信したため次年度も継続開催の方向で計画している。 ②「生活支援」「井戸端カフェ」「HKF研修会」「HKFニュース」についてはいずれも地道に活動を継続されることが望まれており、次年度も今まで通りに計画をしている。 ＜情報公開＞ 手法としては今までのようなアナログ方式（全戸配布、回覧、ポスター掲示）は地域性を考慮すると継続しなければならない。併せてデジタル方式（NETやSNSなどを活用した特に若い方たちへの情報配信）をどうしたらよいか、技術的なことや金銭的なことを含め現在いろいろ検討中である。 今、一番の悩みは町内会に入っていない住民の方（約350世帯）への情報紙の配布である。戸別訪問によるポストインは労力的に困難な状況である。
⑤次年度計画	・「生活支援」：今まで通り継続の予定。 ・「井戸端カフェ」：今まで通り継続だが“井戸端カフェ南古都”から月2回開催要望の声が出ており参加者による自主運営を条件に検討中。 ・「HKF研修会」：今まで通り継続の予定。出前研修は砂場町内会公会堂を計画中。 ・「HKFニュース」：今まで通り継続の予定だが、紙面の大きさや掲載記事の読みやすさを意識して改定の予定。 ・「小地域ケア会議」：今まで通り継続の予定だが、7月に開催の第50回会議の際には記念大会として特別企画を検討中。 ・新企画「ふれあいサタデー・元気で輝き体操」及び「三世代交流ふれあいサタデー」：導入2年目を迎え「体操」については参加者による自主運営ができるように進めて行く予定。「三世代」については本年度3月7日開催がコロナ感染予防のため延期となった企画がある。次年度はその再チャレンジをする予定。なお、その際には隣接の瀬戸中学校区との連携によるプログラムも企画する予定である。

地域の課題解決力については少しずつではあるが確実に高まってきていると確信している。その理由としては安全安心ネットワークのメンバーから感謝と励ましの言葉をかけてもらえるだけではなく「支え合いの具体的な提案に対しても全面的に協力支援してくれる」雰囲気を感じるからである。

“地域づくりを担う人づくり”については容易なことではないが「地域というのは陰でたくさんの方たちが様々な役割を担っていてくれるからこそ成り立っている」という事実をまさに体験を通して気づくことにより、意識変容があり、行動に移すことができるものだと考えている。そのためには一つ一つの地道な活動を積み重ねることがとても大切だと思っている。しかし、たまには刺激的な印象を与えるような“サプライズ企画”も必須であり「その気の無い人をその気にさせる」そのような雰囲気が醸成される活動を継続していきたいと会員一同強く念じて頑張っている。

会員が意識して努力していることは・・・

- ・「挨拶」「笑顔」「会話」「聴く」
- ・「自由な発想」と「何でもありの考え方」
- ・「今、動ける人が動く」「今動けない人は無理をしない」
- ・「本質・バランス・創造」を意識して
- いつも夢の実現を夢見ながら前祝いをしています！

＜審査会での助言及び意見＞

- ・本活動を他学区へも広げて欲しい
- ・継続実施を願っている
- ・ボランティアの確保が大変と思うが頑張っている
- ・他地域も注目しているので頑張っている
- ・目的、活動、運営組織がしっかりしている
- ・参加者、人数の実態は、また、成果の報告を楽しみにしている

審査会からの助言や励ましのお言葉は会としても大変勇気づけられ、そのおかげで頑張ることができています。改めて感謝申し上げます。

- ・他学区への拡大については5年目にしてやっと近隣地域でも芽が出て来ており、更なる連携活動を展開中である。
- ・ボランティアの確保については正直苦戦しているが何とか出来ている。引き続き地域の雰囲気づくりを含め、勧誘を展開中である。
- ・市の高齢者福祉課からのアドバイスで本年度は生命保険協会からの助成金をもらい、会としてもステップアップを目指した新企画をチャレンジすることができました。今後ともよろしくご支援ご指導をお願いいたします。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- I できた
- ② おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

⑦ 事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
平島安全安心ネットワーク	実施事業全般での連携 平島安全安心ネットワーク祭
平島学区連合町内会	平島小地域ケア、実施事業全般での連携
民生児童委員会	平島小地域ケア、実施事業全般での連携
愛育委員会	平島小地域ケア、実施事業全般での連携
老人クラブ連合会	平島小地域ケア、実施事業全般での連携
上道公民館	三世代交流ふれあいサタデーでの出前講座、人づくり講座での交流
上道中学校	三世代交流ふれあいサタデーでのお楽しみタイム「上道何でもクイズ」
東区地域包括支援センター	平島小地域ケア会議、健康福祉研修会での連携
東区保健センター	平島小地域ケア会議、健康福祉研修会での連携
東区社会福祉協議会	平島小地域ケア会議、人づくり講座での交流
瀬戸上道地区ケアマネ会	ケアマネ意見交流会での情報交換、人づくり講座での交流
栄養改善協議会	健康福祉研修会での連携
おかやまふれあい公社予防センター	ふれあいサタデー・元気で輝き体操の立ち上げ

⑧事業実施経過

月日	場所	内容/担当チーム
4/1~4/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
4月12日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
4月26日	平島コミュニティ	第45回小地域ケア会議
4月27日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/総会
4月28日	富山公民館	HKF活動紹介と交流
5/1~5/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
	全世帯配布	健康福祉ニュース11号発刊
5月8日	鏡野町地域包括支援センター	「学育の森」視察研修及び交流
5月11日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
5月25日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
6/1~6/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
6月8日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
6月22日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
6月29日	平島コミュニティ	第24回平島健康福祉研修会/第1回三世交流ふれあいサタデー
7/1~7/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
7月7日	平島小学校	安全安心ネットワーク祭・救護
7月13日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
7月26日	平島コミュニティ	第46回小地域ケア会議
7月27日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
8/1~8/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
8月10日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
8月17日	平島小学校	平島振興まつり・模擬店出店・救護
8月24日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
8月26日	地域ケアセンター	認知症サポートリーダー養成講座で事例紹介
9/1~9/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
9月7日	南古都町内会公会堂	第25回平島健康福祉研修会
9月8日	勤労者福祉会館	HKF活動紹介
9月14日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
9月15日	平島小学校	敬老会・救護
9月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
10月1日	全世帯配布	健康福祉ニュース12号発刊
10/1~10/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
10月12日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
10月25日	平島コミュニティ	第47回小地域ケア会議
10月26日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
11/1~11/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
11月8日	瀬戸町福祉の館	岩国市民児協へ HKF活動紹介
11月9日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
11月14日	上道公民館	“生活支援サポーター養成講座”で HKF活動紹介
11月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)
11月23日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
12/1~12/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
12月3日	備前市市民センター	HKF活動紹介
12月7日	平島コミュニティ	第28回平島健康福祉研修会
12月14日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
12月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
1月1日	全世帯配布	健康福祉ニュース15号発刊
1/1~1/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
1月11日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
1月24日	平島コミュニティ	第48回小地域ケア会議
1月25日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
2/1~2/29	平島学区	生活支援サービス(B班)
2月8日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
2月22日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
2月26日	全世帯配布	健康福祉ニュース13号発刊

3/1～3/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
3月14日	平島コミュニティ	第27回平島健康福祉研修会/井戸端カフェ東平島
3月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)

★生活支援サービス利用累計数:40件(利用者数:15名)

★井戸端カフェ(2か所で開催)利用者累計数:246名

★HKF研修会(3回開催)出席者累計数:185名

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	147,500	88,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	42,500	8,039	会費
参加者負担金	30,000	20,000	サービスチケット代、カフェ参加費
協賛金	50,000	40,000	
寄付、他収入	25,000	20,000	地域企業より
計	295,000	176,039	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	11,850	コピー用紙、紙コップ等
②食糧費	40,000	8,417	お茶代
③印刷製本費	30,000	8,420	印刷代
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	60,000	43,552	携帯電話代、切手代
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料・賃借料	30,000	9,300	コミュニティハウス使用料
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	15,000	6,000	講師謝礼
⑭保険料	20,000	9,000	
⑮旅費	80,000	54,000	研修時交通費
⑯その他	0	25,500	研修会費
計	295,000	176,039	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。